

こんなとき	確認してください	参照ページ
電源ケーブルを接続してもPOWERランプがつかない	電源スイッチがONになっていますか。	—
POWERランプがついているが、装置が起動しない	液晶ディスプレイの表示を参照してください。 「Startup error」「Selftest error」「Boot error」 の場合は、装置異常です。弊社サポートデスクにご 連絡ください。	←P24
10BASE-Tポートに端末、HUBを接続しているのにLANのランプがつかない	接続しているポートはありますか？ ・端末の場合は1番～4番ポート ・HUBの場合は“UPLINK”と書かれたポート ケーブルの接続を確認してください。	—
回線のケーブルをつないでいるのにACTランプがつかない	ラインログを確認してください。 ケーブルの接続を確認してください。 設定や回線を調査してください。 DSUスイッチを逆にしてみてください。 極性設定スイッチを逆にしてみてください。 ISDNの場合は、通話中しか点灯しません。	—

ラインログのみかた

llogコマンドで、ラインログを参照することができます。

ラインログのecodeの下2桁で、回線理由コードが確認できます。回線理由コードはP288を参照してください。

(例) ecodeが08000210の場合

下2桁(10) 正常切断

本装置をご利用中にエラーが生じたとき、エラーメッセージを表示して原因を確認することができます。

エラーメッセージ表示方法とみかた

次の方法で、エラーメッセージ、エラーコード (ecode) を表示できます。

Webブラウザの「インフォメーション」画面 (☞P259) で、以下をクリックする

エラーログの表示 (☞P275)

回線ログの表示 (☞P276)

接続要因パケットログの表示 (☞P278)

(例) 回線ログ

ISDN1:				
seq	uptime	date	channel	ecode
052	0000:01:27.51	98/05/20 (wed)	14:29:55 ISDN-1	080501b2
			Connect fail 10Yen	
053	0000:00:00.00	98/05/20 (wed)	14:31:48 ISDN-1	00000000
			#Reset [V24.30-062598]	
054	0000:00:19.00	98/05/20 (wed)	14:32:07 ISDN-1	08050110
			Connect fail 10Yen	
055	0000:00:00.01	98/05/20 (wed)	14:33:33 ISDN-1	00000000
			#Reset [V24.30-062598]	
056	0000:00:00.01	98/05/20 (wed)	20:55:43 ISDN-1	00000000
			#Reset [V24.30-062598]	
057	0000:00:00.01	98/05/20 (wed)	20:57:28 ISDN-1	00000000
			#Reset [V24.30-062598]	

0805 (上位4桁) : 内部情報
0162 (下位4桁) : ecode

以下のコマンドを実行する

elogコマンド (軽重 / 中度のエラーログの表示) (☞P275)

llogコマンド (回線ログの表示) (☞P276)

tlogコマンド (重度のエラーログの表示)

alogコマンド (接続要因パケットログの表示) (☞P278)

vlogコマンド (イベントログの表示)

connectコマンドを実行時にエラーが生じたときも、ecodeを表示します。(☞P287)

(例) 回線ログ

```
####Command error.(errcode=01b2)
```

データ通信時のエラーメッセージ

ISDNの接続に失敗した場合のエラーコードについて、以下に記述します。下表でlogコマンドからエラーを探す場合は、ecodeの下4桁にて検索してください。

ecode	原因	確認してください
xx10	【正常切断】 本装置に設定してある宛先ISDN番号が、相手側ルータのISDN番号と違う可能性があります。このメッセージは、装置の異常ではなく設定ミスによるものと思われます。	接続相手装置のISDN番号を確認後、本装置の宛先ISDN番号の設定を行ってください。また、接続相手装置のサブアドレスの有無も確認してください。(☞P226)
0111	【着ユーザビジー】 本装置より相手装置に接続要求を出したが、相手装置がすでに他の装置と接続中のため、接続要求が拒否されたものと思われます。	しばらくしてから再度接続し直すか、接続相手装置が接続待ちであることを確認後、再度接続を行ってください。
0112	【着ユーザレスポンス無し】 本装置より相手装置に接続要求を出したが、相手装置から応答がないため接続要求が拒否されたものと思われます。	接続相手装置のISDN番号を確認のうえ、もう一度本装置の宛先ISDN番号の設定を行ってください。また、接続相手装置のサブアドレスの有無も確認してください。(☞P226)
011b	【相手端末故障中】 接続相手装置の電源がOFFになっているか、装置が正常運用できない状態のときに起こるものです。	接続相手装置が運用可能状態であることを確認後、もう一度接続してください。
0122	【利用可回線チャンネル無し】 本装置に設定してある運用回線が既に使用されているため、利用可能な空き回線がなく接続できない状態です。また、回線切断後すぐ接続要求をした時も起こることがあります。	現在使用している回線を切断後、再度接続を行ってください。または、しばらくしてから再度接続を行ってください。
xx26	【網障害】 回線側で何らかの障害が起きていると考えられます。このメッセージは回線側の障害、または本装置のコネクタよりISDNケーブルが外れていることが考えられます。	DSU 本装置間の、ISDNケーブルが確実に接続されていることを確認してください。また、ISDNケーブルの接続に異常がない場合は、契約している通信事業者へ回線状態の調査を依頼してください。
xx58	【端末属性不一致】 ISDN回線の接続相手が不正（電話機等）である可能性があります。	接続相手装置を確認してください。また、接続相手装置のISDN番号、サブアドレスの設定を見直してください。(☞P226)
xxb2 xxb3	【認証エラー】 PAP/CHAPの認証に失敗していると考えられます。	接続相手（プロバイダ）に指定されたアカウント・パスワードが設定されているかどうか確認してください。

回線理由コード一覧

回線へ接続できなかったときや回線を切断したときなどに、以下の回線理由コードが表示されます。コードは16進法で表示されます。

ISDN網から通知される回線理由コード

内容について詳しくは、NTTにお問い合わせください。

正常イベントクラス

値	意味等
01	欠番
02	指定中継網へのルートなし
03	相手へのルートなし
06	チャンネル利用不可
07	呼が設定済のチャンネルへ着呼
10	正常切断（接続相手側での認証（発信者番号やPPPの認証）に失敗している場合が考えられます）
11	着ユーザビジー
12	着ユーザレスポンスなし
13	着ユーザ呼出中 / 応答なし
15	通信拒否
16	相手加入者端末番号変更
1a	選択されなかったユーザの切断復旧
1b	相手端末故障中
1c	無効番号フォーマット（不完全番号）
1d	ファシリティ拒否
1e	状態問い合わせへの応答
1f	その他の正常クラス

リソース使用不可クラス

値	意味等
22	利用可回線 / チャンネルなし
26	網障害
29	一時的障害
2a	交換機輻輳
2b	アクセス情報廃棄
2c	要求回線 / チャンネル利用不可
2f	その他のリソース使用不可クラス

サービス利用不可クラス

値	意味等
31	QOS利用不可
32	要求ファシリティ未契約
39	伝達能力不許可
3a	現在利用不可伝達能力
3f	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

サービス未提供クラス

値	意味等
41	未提供伝達能力指定
42	未提供チャンネル種別指定
45	未提供ファシリティ要求
46	制限デジタル情報伝達能力
4f	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

無効メッセージクラス

値	意味等
51	無効呼番号使用
52	無効チャンネル番号使用
53	指定された中断呼識別番号未使用
54	中断呼識別番号使用中
55	中断呼なし
56	指定中断呼切断復旧済
58	端末属性不一致
5b	無効中継網選択
5f	その他の無効メッセージクラス

インタワーキングクラス

値	意味等
7f	その他のインタワーキングクラス

手順誤りクラス

値	意味等
60	必須情報要素不足
61	メッセージ種別未定義または未提供
62	呼状態とメッセージ不一致またはメッセージ種別未定義
63	情報要素未定義
64	情報要素内容無効
65	呼状態とメッセージ不一致
66	タイム満了による回復
6f	その他の手順誤りクラス

回線理由コード一覧

ISDN網以外（専用線を含む）から通知される回線理由コード

次の値については、接続相手側のPPP接続手続きが動作していない、あるいはうまく動作していないと思われます。本装置に設定した認証アカウントと認証パスワードの内容を見直すか、接続相手側のPPPサーバ（RAS）を確認してください。

値	意味等	値	意味等
b0	PPP: not connected	b4	PPP: TR send retry over
b1	PPP: CR send retry over	b8	PPP: Code-Rej, Protocol-Rej receive
b2	PPP: loop timeout	b9	PPP: not exist NCP connect req
b3	PPP: TR receive		

次の値は、接続相手側や、自局側のLINE Uポートにおける極性の不一致や、回線の取り回し、機器の接続ミスに不具合が見られる場合などによくある原因です。個々の原因に対して個別の対策等のヒントが記述されていない場合は、次の対策を実施してみてください。

値	意味等	値	意味等
80	SD: start reject	a1	ISDN: incom timeout
81	SD: stop reject	a2	ISDN: clear timeout
82	SD: start timeout	e0	SD/ISDN: config error
83	SD: stop timeout	e1	SD/ISDN: all channels busy
84	ISDN: start reject	e2	SD/ISDN: channel not ready (LINE UポートやS/T点が抜けているか、LINE U点の極性が合っていない可能性があります)
85	ISDN: stop reject		
86	ISDN: connect reject		
87	ISDN: clear reject	e3	SD: state error
88	ISDN: incoming call reject	e4	SD: stop request receive
89	ISDN: start timeout	e5	ISDN: state error
8a	ISDN: stop timeout	e6	ISDN: stop request received
90	SD/ISDN: detected INFO0 or INF02	e7	ISDN: incoming call fail after conflict
91	SD/ISDN: DL no sync (フラグ同期監視の必要がないにも関わらず、監視するよう設定 (datalinkコマンドのwatching) されている場合は、その設定を解除してください)	ff	invalid port number
		fe	invalid primitive number
		fd	invalid option
		fc	phase error (すでに接続している可能性があります)
a0	ISDN: call timeout (接続相手側に着呼を同時に受け付けてしまう機器が複数存在する可能性があります。接続相手側の着呼条件を見直してください)	fb	bad configuration
		f6	接続相手はリミッタ動作中 (接続相手をunlockしない限り接続できません)
		0a	ignored

対策

極性設定スイッチを切り替えてみる。

S/T点での接続が確実に行われているか確認する。

NTTに連絡し、網側からDSU折り返しのループバックテストを実施してもらい、網への接続を確認する。

接続相手側で接続の対象となる機器の状態が正しい状態にあるか確認する。

接続相手側で複数の機器がバス接続している場合、複数の機器が同時着信していないか確認する。

コマンドによるping実行時のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	確認してください
[1011]Network is unreachable.	ネットワークに対するルート情報が見つからない。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力を確認してください。 • ルーティング状態を確認してください。(☞P271) • LANまたはWANのケーブルが抜けていることが考えられます。ケーブルを見直してください。
[101d]No route to host.	ホストに対するルート情報が見つからない。	<ul style="list-style-type: none"> • 入力を確認してください。 • ルーティング状態を確認してください。(☞P271) • LANまたはWANのケーブルが抜けていることが考えられます。ケーブルを見直してください。
[1010]Network is down.	インタフェースがダウンしている。	<ul style="list-style-type: none"> • LANまたはWANのケーブルが抜けていることが考えられます。ケーブルを見直してください。
Ping Time Out.	相手からの応答がない。	<ul style="list-style-type: none"> • 相手端末が存在しないか、電源がOFFになっている可能性があります。

その他のエラーメッセージ

その他コマンド入力時に表示されるエラーメッセージとその意味、対応方法を以下に記述します。

エラーメッセージ	意味	対応方法等
*** someone already login	多重ログインエラー	すでにログインされている装置にログインすることはできません。先のログインがログアウトされるのをお待ちください。あるいは、ログアウトしてもらってください。
*** permission denied	コマンドの実行レベルが違います。	コマンドには、ログイン状態（ログインモード）でしか実行できないもの、コンフィグレーションモードでしか実行できないものがそれぞれ存在します。コマンドが実行できるモードに変更してください。
*** illegal strings	入力された文字列はデータとして不正です。	正しい文字列を入力してください。
*** illegal password	入力したパスワードは登録されているパスワードあるいは登録しようとしているパスワードと違います。	正しいパスワードを入力してください。
*** illegal parameter <値等>	<値等>で示される入力はパラメータとして受け付けられません。	パラメータとして正しい内容を入力してください。
*** password too long	入力したパスワードが長すぎます。	パスワードは15文字以内で設定してください。

回線理由コード一覧

エラーメッセージ	意味	対応方法等
*** not yet password	コンフィグレーションパスワードの設定が行われていませんので、コンフィグレーションモードには移れません。	コンフィグレーションパスワードの設定を行ってください。
*** parameter too long	入力したパラメータのデータは、長すぎて設定できません。	パラメータとして正しい内容を入力してください。
*** illegal address <アドレス値>	入力した<アドレス値>はアドレス値として不正です。	パラメータとして正しいアドレス値を入力してください。
*** parameter combination error	入力したパラメータの組み合わせが不正です。	正しい組み合わせで入力し直してください。
*** range error <値>	入力した<値>は設定できる範囲外にあります。	パラメータとして正しい範囲内の値を入力してください。
*** duplicate error	登録しようとしている内容は既に登録されています。	登録内容を見直すか、登録されている内容を削除してから登録してください。
*** registration overflow	登録できる件数を超過しました。	登録済みの内容を見直して不要な登録を削除してから、登録し直してください。
*** no entry	登録されているデータはありません。	必要ならばデータを登録してください。
*** no name	入力した名称は登録されていません。	登録されている名称を入力してください。
*** configuration busy	多重コンフィグレーションモードエラー	先に入っているコンフィグレーションモードが終了するのを待ってからコンフィグレーションモードに入ってください。FTPでログインされていたり、displayコマンドの表示がMOREで途中で止まっている場合でも同じ状態になります。
*** illegal socket <ソケット番号>	入力した<ソケット番号>が不正です。	正しいソケット番号を入力してください。
*** no entry <名称等>	入力した<名称等>は実行できるコマンドとして登録されていません。	コマンド名を見直すか、アナログ設定モードに移動してからコマンドを入力してください。telnetにより非表示文字が入力された場合はその内容を16進値で<名称等>に表示します。

回線ロガー一覧

ここでは、LAN、WAN回線の状況の一覧と、その場合の対処方法について説明します。
LAN、WAN回線の状況の確認方法は、P276を参照してください。

LANのログ

ecode (メッセージ)	状況	確認してください
08050200 (Ethernet Tx error)	LANの送信が失敗しました。	10BASE-Tケーブルの接続を確認してください。

高速デジタル専用線ログ

ecode (メッセージ)	状況	確認してください
08050a00 (Connected)	高速デジタル専用線が接続しました。	—
002x0000 (Line error) 00300000 (Send error) 0031NNNN (Receive error)	高速デジタル専用線が切断されました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイストペアケーブルの接続を確認してください。 ・接続相手装置の状態を確認してください。 ・終端抵抗を確認してください。 ・網 - DSU間の通信を確認してください (通信事業者に依頼)。

ISDN回線ログ

ecode (メッセージ)	状況	確認してください
08050a00 (Calling Called YYYYYY.YYYY) YYは相手番号が入る	ISDN回線が接続しました。 (Callingは発信・Calledは着信)	—
080501XX (Connect fail)	ISDNの接続に失敗しました。	P264を参照してください。
080502XX (Disconnected)	接続しているISDN回線が切断されました。	P264を参照してください。
002X0000 (Line error) 00300000 (Send error) 0031NNNN (Receive error)	ISDNが切断された、もしくは接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイストペアケーブルの接続を確認してください。 ・接続相手装置の状態を確認してください。 ・終端抵抗を確認してください。 ・網 - DSU間の通信を確認してください (通信事業者に依頼)。

数字

10BASE-Tポート	26
3人でお話しする	75

アルファベット

ACTランプ	19
alogコマンド	278
BACPを設定する	143
bacpコマンド	143
charge callbackコマンド	140
chargeコマンド	138,263
connectコマンド	252
dateコマンド	260
DHCP	
DHCPサーバ機能	229
DHCPの状態を表示する	272
disconnectコマンド	254
displayコマンド	144
DSUスイッチ	26
dhcpstatコマンド	272
elogコマンド	275
FAXの接続	31
FAXの発信	64
FAX無鳴動着信を設定する	114
FG端子	26
HUBの接続	31
hereisコマンド	260
INSなりわけサービスを利用する	80
INSナンバー・ディスプレイを設定する	115
INSボイスワープを利用する	79
IP RIPスタティック	240
ipinterfaceコマンド	269
iprouteコマンド	271
IPアドレスを設定する	122
IPアドレス設定用暗証番号を設定する	121
IPパケットフィルタリング	237
中継するIPパケットの登録	238
中継しないIPパケットの登録	239
ISDN	
ISDN回線の接続	223
ISDN回線の接続が可能なパケットの指定	236
ISDN回線を接続する	252
ISDN回線を切断する	254
ISDN回線のMP接続を行う	256
LANランプ	19

LINE U ポート	26
lineisコマンド	137,263
llogコマンド	276
lsplitコマンド	256,257
NATスタティック登録	233
MP接続しているISDN回線を切断する	257
NAT ⁺	
NAT ⁺ 機能	232
NAT ⁺ スタティック登録	234
NAT ⁺ の状態を表示する	274
natinfoコマンド	274
PIAFS/TA接続 (アクセスサーバ)	185
POWERランプ	19
ProxyARPの設定	243
RIP	
RIPの制御	244
受信RIPフィルタリングテーブル	245
送信RIPフィルタリングテーブル	246
rbodコマンド	142
S/T点終端スイッチ	26
showコマンド	144
stchannelコマンド	265
stipコマンド	265
syslogの送信	235
TA機能	280
TELポートのHLC設定	104
targetisコマンド	261
unlockコマンド	258
uptimeコマンド	260
Webブラウザを利用した設定	125

五十音

【ア行】

アースの接続	31
アドレス	64
アナログ機能を設定する	82
アナログ機能の設定を表示する	144
アナログ通信機器ジャック	26
アナログポートの設定をする	131
暗証番号	
IPアドレス設定用暗証番号を設定する	121
着信転送解除用暗証番号の登録	92
着信転送設定用暗証番号の登録	91
インターネット専用線接続	
インターネット専用線接続<NAT off>	198
インターネット専用線接続<NAT on>	194
インターネットサービスプロバイダとの契約	17
インターネットダイヤルアップ端末型接続	148

転送トーンを設定する	90		
ナンバー・ディスプレイについて	95		
フリー転送を設定する	93		
呼出ベル回数を設定する	89		
中継許可指定			
設定する	78,129		
利用する	78		
追加呼出遅延を設定する	108		
通信状態を表示する	263		
通信中機器移動	81		
通信中転送	74		
通信中に電話機を移動する	81		
通話中の電話を転送する	74		
停電	28		
電話を受ける	68		
電話をかける	63		
3人でお話する	75		
同じ相手にかけ直す	66		
サブアドレスを追加して発信する	64		
短縮ダイヤルで電話をかける	65		
電話を取りつく	69		
電話機を利用した設定	84		
電話機能の設定	125		
デジタル通信機器			
デジタル通信機器の接続	31		
デジタル通信機器ポート(S/T点)	26		
ディスプレイ			
ディスプレイに表示されるメッセージ	20		
ランプ表示	25		
データリンクの設定	249		
電源			
電源コード	26		
電源スイッチ	27		
電源との接続	31		
電源プラグ	26		
電話機の接続	31		
統計情報を表示する	265		
動作環境	34		
特殊ダイヤル発信	64		
【ナ行】			
内線通話	67		
内線転送	69		
内線呼出ベルを設定する	111		
ナンバー・ディスプレイ	95		
認証データの複数登録(ダイヤルアップ 接続用)	225		
【ハ行】			
パスワード			
コンフィグレーションパスワードを登録・ 変更する	52		
ログインパスワードを登録・変更する	50		
バックライトを設定する	120		
発信	63		
発信者番号通知を行う	97		
発信者番号優先着信を設定する	119		
品名シール	27		
ファームウェア	55		
ファイル転送			
電話機能	59		
ルータ機能	57		
フッキング	110		
付属品	18		
ブリッジングの設定	248		
フレームリレー接続	212		
フレックスホン契約状況を表示する	137		
フレックスホンサービス	83		
ベル回数を設定する	108		
ベル周波数を設定する	118		
保存	41		
ボリュームを調整する	107		
本体	18		
【マ行】			
モードの移行	40		
TELモードに移行する	40		
コンフィグレーションモードに移行する	40		
モデム接続	218		
モデムの発信	64		
モデム定義ファイル	282		
【ラ行】			
リセット	37,41		
リセットスイッチ	26		
リミッタを解除する	258		
利用ケース	146		
利用ケースの切り分け	147		
ルータ機能概要	145		
ルーティングインタフェースを表示する	269		
ルーティング状態を表示する	271		
ルート情報提供ルータの指定	247		
ログインパスワード	50		

項目		FITELnet-E20	FITELnet-E30
回線インタフェース	U点	1ポート	1ポート
	U点極性切替		
	DSUスイッチ		
	S/T点	1ポート	1ポート
	S/T点終端スイッチ		
LAN	10BASE-T	4ポート (+ 1カスケードポート)	4ポート (+ 1カスケードポート)
WAN	ISDN (INS-C)		
	ISDN (INS-P Dchパケット)	-	
	専用線 (64/128kbps)		
	32kPIAFS、64kPIAFS(2.0/2.1)		
	フレームリレー (64/128kbps)	-	
	AsyncPPP	-	
アナログポート		2ポート	2ポート
装置インタフェース	シリアルポート	DTE	DTE
	液晶ディスプレイ	12文字×2行	12文字×2行
電源	電源	内蔵	内蔵
	停電時バックアップ	(単三アルカリ乾電池6本必要)	(単三アルカリ乾電池6本必要)
ISDN	接続対地	20箇所	60箇所
	I・ナンバー (3番号)		
TA機能			-
サポートプロトコル		IP	IP
ブリッジング		-	
IPルーティングプロトコル	スタティック		
	RIP		
フィルタリング		アドレス、プロトコル、ポート番号、インタフェース	アドレス、プロトコル、ポート番号、インタフェース
DHCPサーバ			
データ圧縮 (StackerLZS)			
ヘッダ圧縮 (VJ Compress)			
アドレス変換		NAT, NAT ^{+(plus)} , NATスタティック, NAT ^{+(plus)} スタティック	NAT, NAT ^{+(plus)} , NATスタティック, NAT ^{+(plus)} スタティック
セキュリティ	発信者番号認証		
	PAP/CHAP		
トラフィック分散	MP		
ISDN課金監視機能 ¹			
コールバック	無課金		
	CBCP		
冗長構成	ホットスタンバイ	-	
	Layer3監視	-	
	ルータグループ化	-	
データ別優先制御		-	
Proxy DNS			
SNMPエージェント		-	
SYSLOG通知			
RADIUS		-	
フレッツISDN対応			
設定、運用		コマンド、WEB、設定ダイヤル	コマンド、WEB、設定ダイヤル
外形寸法、重量		205(W)×178(D)×54(H)mm 約1.0kg	

1 ISDN課金監視機能

ISDNの接続時間を制限する機能です。

装置導入時は、ISDNが連続12時間接続したままの状態が続くと、装置が停止します。

-
- 本書は改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利の侵害については、弊社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。

発行責任：古河電気工業株式会社

Printed in Japan